



(住所) 桜井市大字金屋896
(祭神) 大己貴神
(交通) JR桜井線三輪駅から徒歩
約15分

(拝観) 境内自由
(駐車場) なし
(電話) 三輪恵比須神社(0744
・42・6432)

志貴御県坐神社 (桜井市)

にその名が見られます。

主祭神は大己貴神。本

殿は流造檜皮葺、前に千

鳥破風が付きまます。拝殿

は切妻造棧瓦葺。境内社

は二社あり、琴平神社・厳

島神社。拜殿東側には四

つの磐座が等間隔で並ん

でおり、この場所が古く

から信仰の場所であった
ことがうかがえます。

鳥居の前に立つと南に

は首羽山、鳥見山、御破裂

山の展望が広がります。

桜井市金屋は、「八十のち

また」といわれ交通の要

衝でした。万葉集にも歌

われた海柘榴市が立った

場所です。東は伊勢街道

を通じて初瀬・宇陀・東国

へ、南は磐余道や多武峰
街道を通じて飛鳥・吉野・

紀伊へ、北は山の辺の道

を通じて奈良・山城・近江

へ、西は横大路や大和川

の水運により難波・瀬戸

内海へとつながっていま

した。神社は第十代崇神

天皇の磯城瑞籬宮跡の

伝承地といわれ、石碑が

建っています。まさに古

代ヤマト王権が発展して

いく拠点となった地で

す。(奈良まほろばソムリ

工の会会員 岡本喜一)

三輪山の南西の麓に鎮座しており、すぐ近くを山の辺の道が通っています。御県とは天皇の食事に添える蔬菜(野菜)を栽培する朝廷の直轄地を示しており、大和にあった六つの御県の一つ、志貴の地に建てられた式内大社です。創建は明らかではありません

2) 年の大和国正税帳



古代ヤマト王権発展の地